

◆平戸高層団地の「高齢化」への取り組み

平戸高層団地(高層団地)は県営団地のため、一般の賃貸住宅への入居が難しい独居高齢者や外国人が入居するようになり、平戸地区の中では突出した高齢化社会になっています。このような背景のもとで行っている平戸高層団地自治会の活動、「安心カード」と「平戸団地ふれあいの集い」を紹介します。

安心カード

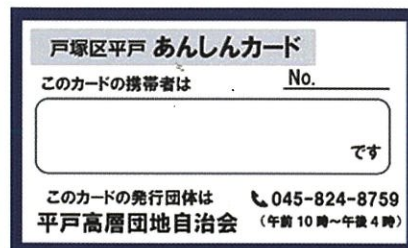
外出先で何かあった時、高齢者は自分の名前や住所を正しく言えるだろうか？もし、名前や住んでいる地域が書いてあるカードを持っていたら、助けてもらえるかもしれない。これが「安心カード」です。

平戸地区社会福祉協議会が「安心カード」を作成し、配布や運用を平戸高層団地自治会が行っています。

安心カードには名前、自治会名、自治会事務所の電話番号を掲載。カード携帯者が外出中何かあったら、周りの方がこのカードを見ることによって、どこに住んでいる方が分かります。また、自治会事務所に電話することによって、民生委員、団地内常設の「生活相談室」の相談員、自治会長に連絡が入る体制となっています。どの部屋に住んでいるかも分かるようになっているので警察や救急隊員も手続きをスムーズに進めることができます。

高層団地では令和6年6月から高齢独居者、体に障害をお持ちの方から優先的にカードを配布し、令和6年8月末現在96名の方に安心カードを発行しました。現在は枠を広げて、希望する住民にも申込書を配布しています。鞆にぶら下げたり、敬老パスのケースや財布に入れてたりと分かりやすいように皆さん工夫しているようで、「万が一外出先で何かあった時に連絡手段があるので心強く、安心して外出できる」との声も。

高層団地では今後も住民の皆さんに安心カードの取り組みを周知して、高齢者や障害をお持ちの方が暮らしやすい団地にしていこうとしています。



平戸団地ふれあいの集い

高齢者向けのイベントとして、警察やバス・ケアプラザなどの協力を得て「平戸団地ふれあいの集い」が10月13日に団地裏の白砂公園で開催されました。高齢者向けのバスやケアプラザ送迎車、パトカー・白バイの展示や乗車体験のほか、詐欺対策PRや団地内のサークルの紹介などの高齢者向けのものに加えて、お菓子のつかみ取りなどで子どもや若い人たちも巻き込んで楽しい「ふれあい」のイベントとなりました。参加者は約130人とのことでした。



平戸地区連合町内会のX(旧Twitter)です



閲覧・掲示・配布物をすべて掲載しています

<https://twitter.com/HiradoC>

●平戸地区連合町内会と平戸地区社会福祉協議会へのご意見・ご質問は、hirado-rengo-info@ymail.ne.jpまでお寄せください

編集：平戸地区社協広報委員会
〈ひらど地区だより11号〉

ひらど地区だより

平戸地区連合町内会 / 平戸地区社会福祉協議会

2024年11月 発行



エンジョイスポーツひらど 2024 10/6 開催 @平戸小学校

朝方小雨が降りましたが、受付開始の頃には雨も上がり、暑くも寒くもなく運動するにはちょうどよいお天気となりました。

川上公園が改修工事で閉鎖されており、今年だけは平戸小学校での開催となりました。そのせいか、国道北側在住の方が昨年より多く参加してくださいました。

家族で、友達同士で、ひとりでの参加の皆さんから「これ楽しい！！」という声がよく聞こえてきました。種目の一つ「豆うつし」では幼児のためにお箸の代わりに小さなスプーンを用意。ハマったお子さんが全ての豆をお椀からお椀へ移し終えるまでやり続けるという姿も見られました。

来年は新しくなった川上公園での開催です。

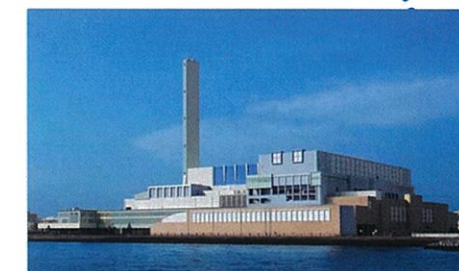


※足ドリブルは約14mを1往復したタイム/けん玉・なわとびは1分間にできた回数/豆うつしは30秒間に豆を塗り箸でつまんで移すことができた個数

横浜市資源循環局金沢工場 見学

家庭から出るゴミは一体どこでどのように処理されているのでしょうか？平戸地区では9月19日、各自治会町内会の会長やゴミ集積の担当者など総勢22名で横浜市資源循環局金沢工場の焼却工場と資源選別センターを見学し、ゴミを捨てる際の注意点等を学びました。

驚いたのは缶・びん・ペットボトルの選別は人の手も使って行われているということ。磁石や風を使って選別するので、缶はつぶさずに(つぶすと選別しにくくなる)。ペットボトルはラベルとキャップは外してプラゴミへ、本体はつぶすのが選別効率化のポイントだそうです。



横浜市資源循環局金沢工場



横浜市では、缶・びん・ペットボトルは一つの袋にまとめて出してOK。資源選別センターでは、まずゴミ袋を裂いて抜き取り→コンベアにのって流れてくるペットボトルを手作業で抜き取り→スチール缶を磁石で回収→アルミ缶は風で吹き飛ばして→残った重いびんは無色と茶色とその他の色に人の手で選別していきます。

平戸地区社会
福祉協議会が
応援する

ボランティア活動を紹介します

平戸地区社協は新しく活動を始めの方を応援します。自治会町内会を通してご相談ください。

子育てサロン きらきら

お母さんたちの育児によるストレス解消と友達づくりの場を提供しています。一年を通して親子で体操、季節の工作づくり、外遊び、あそび歌などを行っています。

参加者からは、「情報交換もできるし、体を動かしてリフレッシュできる」「初めて参加するときでも入りやすい雰囲気だった」「赤ちゃんから歩くまでの月齢の子まで受け入れてくれる」「きらきは優しくて気が楽」といった声をいただいています。(代表 古川まり子)



- * 毎月第4金曜日
(ただし8月を除く)
- * 10時半～12時
- * 芹ヶ丘自治会館
- * 対象は未就園児とその家族

芹ヶ丘ボランティア 青空

平成14年(2002年)4月に発足、以来22年間にわたって、芹ヶ丘住民の買い物足の足として専用車をもって送迎活動をしています。芹ヶ丘自治会の立地(丘陵地)を懸念して、買い物難民にならないようにボランティアを立ち上げて奔走して下さった先輩方は、皆様すでに鬼籍に入られました。その遺志を継いで、現在は運転者・案内者計22名にて会を運営しています。活動は、週2回(日・木)10時30分から12時まで活動しています。令和5年度の送迎の実績は延べ1,107回でした。

住民の皆様は、「自分の目で見えて選べる喜びがある」「自宅まで車で送ってもらって助かる」「今年の夏は特に暑かったのととても助かった」など喜びの声を伝えてくださり、それが私たちボランティアの活力となっています。(代表 曾根よしみ)

かたつむり

1～3歳児の子どもたちと父母の憩いの場が「かたつむり」です。平戸地区保健活動推進委員会が主催、平戸地域ケアプラザ共催ですが、地域に根ざした各団体にご協力をいただき、毎月第3金曜日10時から電電戸塚団地自治会館を主会場として楽しい集いを行っています。ぜひ遊びに来てみてくださいね。(平戸地区保健活動推進委員長 秋田榮子)



左・7月8月は直径2mのプールに水を入れ、夏の暑い中「初めての水遊び」。7月は恐る恐るプールに入っていたのが、8月は別人のようにはしゃぐ子どもたちに手を焼きながら皆で楽しみました/中・11月は「みかん狩り」/右・12月はサンタさんと「クリスマス会」

電電ボランティアの会

平成9年創部の「電電ボランティアの会」は介助部10名(買い物代行、傾聴、散歩の付き添いなど)・サロン部10名(歌唱、健康体操、手芸工作など)・送迎部9名(車による送迎)・草取り部12名(庭の草取り、低木の剪定など)・小修繕部8名(家具の移動や固定、電球交換、網戸張り替え、中低木の剪定など)の5部構成、会員49名で活動しています。令和5年度の自治会内住民の当会利用回数は311回、対応した延べ会員数は1,237人でした。

サロン部の利用者さんの「今月も楽しかったわあ～」にほっこりした優しい気持ちに。乗降時に手を貸し、安全に気を配りながら目的地まで送迎。車中でのちょっとした会話も楽しみです。お年とともに辛くなる庭の手入れ、業者に頼み難いちょっとした困り事など、丁寧に対応してくれると評判。きれいになった!と皆さん喜んでくださいます。

どの部も利用者さんからの「助かった!」「ありがとう!」など感謝の言葉を励みにボランティア会員は活動しています。(代表 堀内潔)

にじいろえほん箱

にじいろえほん箱は、約1,000冊の子どもの本を揃え、毎月第1第3木曜日に本の貸し出しとおはなし会を行っています。午前中は乳幼児親子向けですが、第3木曜日は18時まで開館していますので、小学生や保育園帰りの親子も利用できます。

夏にはちょっと怖いおはなしを集めた会を、季節の良い時には公園でのおはなし会を企画するなど、本を通して子どもたちの育ちを応援する活動を行っています。(代表 早川志保)



だかし屋 nicco 😊

店名の「だかし屋nicco(にこ)」は、みんながニコニコになれるお店を…♡という思いで名づけました。週1回自宅前の駐車場で開店、他に芹ヶ丘自治会館や他のイベント会場にも出店しています。近所の子どもたちが楽しみにしてくれて、道端で出会った子どもに「あ!だかし屋さん!」と言われると嬉しくなります。営業日やイベント出店情報などは、X(右・旧Twitter)やLINE公式アカウント(左)を見てください。(代表 荒明加奈)



小さな集い

25年前発足した平戸高層団地のサロン「小さな集い」。当時、対象者である65歳以上の自治会員家族は7名ほど。会費は50円でした。

現在は毎月お知らせ150部を配布。8名のスタッフで月1回団地集会所にて2時間程度サロンを開いています。会費300円で毎月20～25名の参加があり、ケアマネージャーさんからいろいろなアドバイスを受けてたり、ボランティアの方々と小物づくりや健康体操、懐かしい歌を歌ったりお喋りをしています。今年は平戸小学校の児童が作成した「特殊詐欺防止かるた」で思いがけなく楽しい時を過ごしました。

また、七夕飾りを7月に団地内に、8月には平戸台小学校のホタルの里に同小学校や近隣の自治会町内会などと一緒に並べ、地域の方に楽しんでいただいています。(代表 井田君江)